

2016年度

日仏社会学会大会プログラム

11月19日(土)

会場
関西大学

千里山キャンパス 100周年記念会館
特別第1会議室
(大阪府吹田市山手町3-3-35)

<参加要領>

1. **大会参加費** 大会運営のため参加費 1,000 円を申し受けます。
非会員の方の参加も歓迎いたします。
2. **懇親会** 懇親会にご出席の方は会費 5,000 円(学生会員 3,000 円)を大会受付でお納め下さい。

会場：関西大学 100周年記念会館 1階 紫紺
開催時間：17:30～19:30

お問合せ 日仏社会学会事務局 nichifutsusocio@gmail.com

<連絡事項>

- * 大会および懇親会のご出欠を11月11日(金)までにお知らせください。
(連絡先：日仏社会学会事務局 nichifutsusocio@gmail.com)

*2016年度会費の納入をお願いいたします。

郵便振替 00960 6 278804 口座名 日仏社会学会

〈タイムテーブル〉

09 : 45 受 付

10 : 10 開 会 の 辞 荻野昌弘（日仏社会学会会長・関西学院大学）

10 : 15-10 : 40 自由報告

司会 岡崎宏樹（神戸学院大学）

デュルケムの「道徳の科学」についての試論

——「内在的事実」と「外在的事実」の関係を中心に

杉谷武信（日本大学）

10 : 50-12 : 20 テーマセッション

ブルデュー ハビトゥス概念の現代性——社会的分化・分類・潜在性——

司会 三浦直子（神奈川工科大学）

10 : 50 趣旨説明

10 : 55 報告

1. ハビトゥス・性向・分類

——『ディスタクシオン』と『実践感覚』の交差

磯直樹（上智大学）

2. ハビトゥスと潜在性 (potentialité)

——実践と状況の関係をめぐる考察

村田賀依子（奈良女子大学大学院）

3. 分化した社会におけるハビトゥス

——ライールのブルデュー批判を手がかりに

村井重樹（島根県立大学）

11 : 55 討論・質疑応答

12 : 20-13 : 30 昼 休 み （理事会：第5会議室）

13 : 30-14 : 00 総 会

14 : 00-17 : 00

シンポジウム フランスにおける「テロリズム」

司会：北垣徹（西南学院大学）

14 : 00-15 : 00 基調講演

何がテロを生み出したのか——フランス社会の深層

荻野昌弘（関西学院大学）

15 : 05-15 : 55 報告

1. フランス共和主義のダブルスタンダード
——在仏ムスリム差別の特殊性

森千香子（一橋大学）

2. テロと表象

鶴巻泉子（名古屋大学）

（休憩）

16 : 10-17 : 00 討論・質疑応答

コメンテーター 宇城輝人（関西大学）

17 : 00 閉会の辞

宇城輝人（関西大学）

17 : 30—19 : 30 懇親会（100周年記念会館 紫紺）

アクセス

関西大学千里山キャンパスは、阪急電鉄「関大前」が最寄り駅です。

関西大学千里山キャンパス・キャンパスマップ



※ キャンパス内の「100周年記念会館」(マップでは42番)は、阪急電鉄「関大前」駅、南口利用が便利です。南門より、階段、エスカレーターをご利用ください。

雨天の場合でも、ほとんど雨に濡れることなく到着できます。

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html>

昼食について

構内の生協、学食、駅前のコンビニや食堂を利用することができます。